

## 教科等別年間指導計画

学年	1	教科 目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。		
教科	技術・家庭 (技術)				
授業 方法 形態	一斉授業 グループ学習 個別学習		先生 から 一言	パソコンの基本的な操作を身につけて、他の教科や総合的な学習での調べ学習などでパソコンが有効利用できるようになる。ものづくりの楽しさを知ってほしい。	
月	単元名	単元のねらい、内容	評価規準・方法等	総合的な学習、ことばの教育、環境教育、情報教育等との関連	時数
4	情報とわたしたちの生活  コンピュータの仕組みと基本操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータがどのように利用されているかを知り、コンピュータの機能を知る。</li> <li>・コンピュータを構成する装置について調べる。</li> <li>・ハードウェアとソフトウェアについて調べ、その役割についてまとめる。</li> <li>・コンピュータの起動・終了の方法を調べ、実行できる。</li> <li>・図形処理ソフトウェアを起動し、マウスを使って簡単な絵を描く。</li> <li>・いろいろな文字で自分の名前を入力する。</li> <li>・文字の挿入や削除の方法を理解する。</li> <li>・作成した文書を保存できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りで使われているコンピュータやその役割を理解できる。</li> <li>・各装置の役割について理解できる。</li> <li>・OSやいろいろなソフトウェアの起動や終了を正しく行える。</li> <li>・マウスやキーボードを正しく使える。</li> <li>・各種の文字を打ち分けることができる。</li> <li>・自分の作った文書やデータを正しく保存できる。</li> </ul>	パソコン教室でのコンピュータ使用の注意事項やルールを理解し使用できる。	10
5					
6					
6	情報通信ネットワークの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検索の方法を知り、目的のWebページをさがすことができる。</li> <li>・集めた情報を整理しまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワード入力や検索エンジンなどを正しく利用できる。</li> <li>・調べた内容を正しく保存したりプリントアウトできる。</li> </ul>	調べ学習の方法を身につけるだけでなく、正しい情報利用やそのモラルについても理解させる。	3
7	技術とわたしたちの生活 製品の設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の発達とわたしたちの生活の変化について調べる。</li> <li>・製品の機能について理解する。</li> <li>・木材、金属、プラスチックの特徴を理解する。</li> <li>・製品に適した接合法を理解する。</li> <li>・最終的な構想の検討をする。</li> <li>・構想図をキャビネット図や等角図で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中での技術の役割について積極的に調べようとしている。</li> <li>・それぞれの製品にどのような機能が必要か理解している。</li> <li>・それぞれの材料の特性を理解している。</li> <li>・構想の検討が具体的にできている。</li> <li>・正しく製図が書ける。</li> </ul>	製作に向け見通しを持った計画を立てていく力をつける。	12
9					
10					
11					
11	製品の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用材料のけがき方と工具の使い方を理解する。</li> <li>・使用材料ごとの正確な切断方法を調べ理解する。</li> <li>・仕上がり寸法線にしたがって図面通りに加工する。</li> <li>・組み立てを行う。</li> <li>・製品の材質や使用目的にあった仕上げ方法を調べる。</li> <li>・製品の素材や用途にあった塗装や表面処理を行う。</li> <li>・作品の評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工具の名前がわかり正しい使い分けができる。</li> <li>・切断線に沿って正しく切断できる。</li> <li>・部品を寸法通りに加工することができる。</li> <li>・部品の組み立てができる。</li> <li>・使用目的や使用条件にあった仕上げができる。</li> <li>・目的とした仕上げができる。</li> <li>・互いの作品を客観的に評価できる。</li> </ul>	文化祭などで大道具小道具を製作するのに必要な技能を身につける。	11
12					
1					
2					
3				自己評価並びに他の作品を客観的に評価する力。	